

# 議 会 だ よ り

まるもり

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第 263 号



2023. MAY  
令和 5 年 5 月 1 日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会



未来に向かってシュート 丸中ファイト！（丸森中学校サブグラウンド）（表紙のことは…… 24ページ）

## 3 月議会

伊具高校生と一緒にまちづくりを考えました …… 2ページ

5 年度から給食費無償化 …………… 4ページ

生活基盤創生どう進めるか …………… 6ページ

一般質問 9 名の議員が町政を問う …………… 13ページ



まあるい森の里からごんにちわ

# 伊具高校生と一緒にまちづくりを考えました

## 若い人が元気なまち、お年寄りに優しいまちなど提言

令和4年度2回目の議会懇談会は、3月20日に伊具高校生との意見交換会を開催しました。

員がグループに分かれて、意見交換を行いました。「自分が住みたいまちは、どんなまち」を

### メインテーマ

「自分が住みたいまちは、どんなまち」

### サブテーマ

議場で開会式を行い、委員会室などを見学した後、丸森まちづくりセンターにて「住みたい町を創るワークショップ」と題し、伊具高校1年生42人と議

員がグループに分かれて、意見交換を行いました。「自分が住みたいまちは、どんなまち」をメインテーマに、3つのサブテーマを話し合いながら、自分の意見や思いを書き出した後、各グループの意見として模造紙に書き込み、発表しました。

①あなたが町長だったら、どんな町にしたいですか。  
②将来、地元に住むには何が必要だと思いますか。  
③地域のために、あなたができることは何ですか。



## みんな意見が出されました

### ①あなたが町長だったら

◇高齢者施設を整備して、お年寄りに優しく住みやすいまちにする。

◇公園やテーマパーク、ショッピングモールなど、若い人が遊べる場所を増やす。

◇伊具高校生を300人に増やし、若い人が元気なまちにする。

### ②将来、地元に住むには

◇子育て支援が充実している、病院（産婦人科など）があると、安心して子育てしながら暮らせる。

◇電車やバスの本数を増やし、公共交通を充実させる。

など

### ③地域のためにできること

◇町内の飲食店の利用や、町内産の農作物を買う。

◇町内の企業に就職し、町に住み続ける。

◇町の魅力をSNSで発信し、町外の人に宣伝するなど



伊具高校生の皆さんから出された様々な意見は、今後のまちづくりに反映できるように、議会も努力していきます。

## 令和5年度 第1回 議会懇談会開催のお知らせ

議会懇談会は、議会の報告及び町民と議員が意見交換を行う大切な場として開催しています。今年度は青葉コミュニティセンターと各まちづくりセンターを会場に開催します。皆さまの参加をお待ちしています。

日 時	場 所
5月24日(水) 午後7時～9時	丸森まちづくりセンター
	耕野まちづくりセンター
	青葉コミュニティセンター
5月26日(金) 午後7時～9時	筆甫まちづくりセンター
	小斎まちづくりセンター
	大張まちづくりセンター
5月29日(月) 午後7時～9時	金山まちづくりセンター
	大内まちづくりセンター
	館矢間まちづくりセンター

※事情により懇談会を中止する場合があります。



令和4年度 議会懇談会(耕野まちづくりセンター)

# 5年度から給食費無償化

## 3月議会のあらまし

3月議会定例会は、3月2日から16日まで15日間の日程で開催しました。

### 主な議決内容

- ◆令和5年度各種会計予算
- ◆人権擁護委員の推薦3件
- ◆監査委員選任の同意
- ◆条例制定 11件
- ◆個人情報保護法施行条例、債権管理条例、看護職員修学資金貸付条例の一部改正 ほか
- ◆あっせんの申立て
- ◆補正予算
- ◆専決処分の報告 8件

一般質問は9人の議員が行い、自らの考えを交え町長や教育長の考えをたずねなど、活発な議論を行いました。

また、議会個人情報保護条例、新年度各種会計予算に関する要望を提案しました。

最終日には産建教育常任委員会より、請願「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出についての請願」を不採択とする報告があり、委員会報告のとおり決定しました。

議決結果の一覧はホームページに掲載しています。



## 令和5年度予算は

### 一般会計予算

121億4700万円  
 円で昨年度と比較して5億8700万円、5.1%の増となりました。

### 特別会計予算

国民健康保険特別会計など5つの特別会計予算総額40億6400万円

### 企業会計予算

病院事業会計 14億9566万円  
 水道事業会計 5億7918万円  
 下水道事業会計 16億4313万円  
 ※予算額は収益的支出及び資本的支出の合計額(10ページに詳細があります。)

## 学校給食費の無償化 約4000万円免除

小中学生を抱える世帯を支援するため、給食費納付を免除します。所得等に制限は設けず、全ての小中学生世帯が対象です。

## 町産米の配付に 140万円

高校生世代である16歳から18歳に、町産米を配付します。配付は1人10キロとし、5キロずつを2回に分けて配付する予定です。



地元の食材を使用したおいしい地産地消給食(丸森町学校給食センター)

## 母子の産後ケアに 35万円

産後1年以内の産婦と赤ちゃんが、支援が必要となった際に医療機関でケアを受けられるようにするための予算です。

産後ケアは宿泊型と日帰り型があり、料金の一部が町が助成します。

## 初回産科受診料助成に 45万円

妊娠・出産の経済的負担の軽減を目的に、産科受診料の初回費用を助成するための予算です。

1回の妊娠につき、1人1万円を上限に助成します。

## 町営学習塾開設に 1708万円

町内在住の中学生を対象に、完全予習型の町営塾を開設するための予算です。

科目は数学と英語の2教科を選択でき、場所は丸森中学校敷地内の丸森町情報教育センターに設置します。

## AIDRILL導入に 275万円

小中学校で副教材としてAIDRILLを導入するための予算です。

AIが児童生徒一人ひとりの授業の理解度を分析して出題し、採点・集計をするなど、学力向上や教職員のサポートを行います。

## 竹谷地区仮置場移設準備に 6750万円

竹谷地区仮置場の埋設物の移設準備するための予算です。

現在の埋設物の量を調査した後、移設の設計を開始します。移設準備は4月下旬頃から開始し、令和6年度末頃に移設完了を予定しています。



支援の充実で、安心の子育てを



町営学習塾は丸森町情報教育センターに開設予定



タブレットで自分で学習 AIDRILL (館矢間小学校)

# 生活基盤創生 どう進めるか

予算案に関連した総括質疑の中から取り上げました

## 行政区の見直しはあるか

問 災害公営住宅や町営住宅団地は大行政区になる。コミュニティの観点から見直しが必要ではないか。  
 答 同団地は現在の行政運営推進委員と、お世話役との協力体制でスタートができるよう検討している。町内全域の見直しは令和7年度を目途に検討する。

## 委託料の削減は

問 委託料が19億円超と増えている。職員削減などで大変だが、現場を知る職員の方が委託よりも、良い成果につながることもあるのではないかと。  
 答 限られた予算なので、できるものは職員が行い、委託が必要な業務は最低限の委託料で実施できるように、厳重にチェックを行う。



コミュニティ対策が検討されている町営神明住宅

## 白石蔵王駅への県道改良は

問 丸森町と白石蔵王駅を結ぶ、県道の早期改良の見直しはどうか。  
 答 館矢間山田地区を通る新道線と、角田市道を通り県道を経由して白石に通じる道路改良は、すべて宮城県が施工することになっている。県には強く要望する。

## 農地災害復旧後の管理は

問 農地の復旧工事後の、農業の根幹をなす農地の利用をいかに進めるのか。  
 答 耕作放棄地になることは絶対食い止めたい。高齢化も進んでいるので、集落営農を進めることや、稲作の他、地域に合った畑地化や樹園地化を進めるなど集落と話し合いを進める。



早期改良を強く要望（県道越河角田線）

## 観光施設の収益増加策は

問 各観光交流施設における指定管理者の、収益向上につながる体制づくりをどう進めていくのか。  
 答 指定管理期間の延長、及び収益確保に向け、飲食営業等に取り組みやすくするため、収益事業に対する行政財産目的外使用料の一部免除や免除等の緩和策を検討していく。

## 産科・婦人科設置の考えは

問 丸森病院の産科と婦人科の設置をどのように考えているのか。  
 答 医療相談等は、令和4年4月から民間に委託した医師・助産師によるオンラインサービスを無料で実施している。設置は困難なので、近隣の病院を活用するなどして対応していきたい。



今は指定管理者の事務所として使用している元 齋理喫茶（齋理屋敷2階）

## 2学期制の導入の効果は

問 2学期制の導入により、小中学校の児童や生徒には、どのような効果があるのか。  
 答 メリットは教員に時間ができる、子どもたちと密になる時間が確保できる。

## 町営学習塾の運営方針は

問 令和5年度から始める中学生塾をどう行うのか。  
 答 本町小学生の学力は、家庭学習の習慣化等により一定の定着が見られる。しかし、中学生になると部活動や環境の変化により習慣化が薄れ、学力低下が顕著となるため、自主的な学習意欲が高まるよう取り組みを進める。



復旧農地の不耕作は絶対食い止めたい（大張地区）

# 証 検

# 新年度予算

## 予算審査特別委員会

会期中4日間にわたり、町長、副町長、教育長及び担当課長等の出席を求め、令和5年度の予算審査を行いました。質疑の一部を要約してお知らせします。

### 消防団員不足の解消は

消防団員が不足しているが、今後の取り組みは。

令和5年度からは機能別消防団員制度を導入し、機能別団員30名を確保したい。

元団員の経験を活かし、初期消防と地域防災力の維持向上を図る。



患者をサポートする看護師（丸森病院）

### 具体的な空き家対策は

空き家が増えている。利活用も考えながら、どのような対策を進めていくのか。

空き家の実数、持ち主、外観等のデータベースを作成するために、空き家の実態調査を実施し、空き家対策計画を策定する。

### 看護師の十分な確保を

丸森病院の看護師確保はどのようになっていくか。

外来が14人、入院病床23人で看護体制をとっている。看護師確保は課題であり、看護協会に協力を求めたり、広報で周知するなど確保に取り組む。

### 地域支援事業の充実を

介護・生活支援サービスについて、町民のニーズに合った支援を更に進めるべきと思うがどうか。

町で取り組んでいる地域包括ケアシステムの充実を図っていくとともに、様々なサービスが受けられるよう支援していく。



町民の安全・安心に日々努めます（春季消防演習）

### デマンド交通利用状況は

町民の足となっているあし丸くんや町民バスの利用状況と今後の対応は。

人口減少やコロナなどの影響により利用者は毎年減少している。

今後、利便性の向上や、運行エリア等も含め全体的に見直していく。

### 妊婦等の駐車場整備は

子育て応援スペース整備事業はどんな内容か。

妊婦や高齢者等が利用しやすいように、役場と丸森病院、丸森・館矢間まちづくりセンターの既存の駐車場に、思いやりマークをペイントした広いスペースの駐車場を整備する。

### タブレット導入は

農業委員会でタブレットをどう活用するのか。

農業委員と農地利用最適化推進委員、事務局に、計23台導入する。講習会で操作方法を学び、農地の状況を共有するなどして農地の有効利用等につながるよう取り組む。

### 保管汚染牧草の処分は

町営放牧場に保管している8000ベクレル以下の汚染牧草の処分はどのように行うのか。

町営放牧場に保管している2300ロールを掘り起こし、場内で細断し、仙南クリーンセンターへ搬出して、焼却処分する計画である。



いつも笑顔で利用者の皆様をお迎えしています（丸森町西地区）



汚染牧草の早期搬出を望む（町営放牧場）

# まちづくりへの要望

所管事務調査、予算審査を通じ、各常任委員会から出された要望事項を取りまとめ、議会として9項目を町長に要望しました。



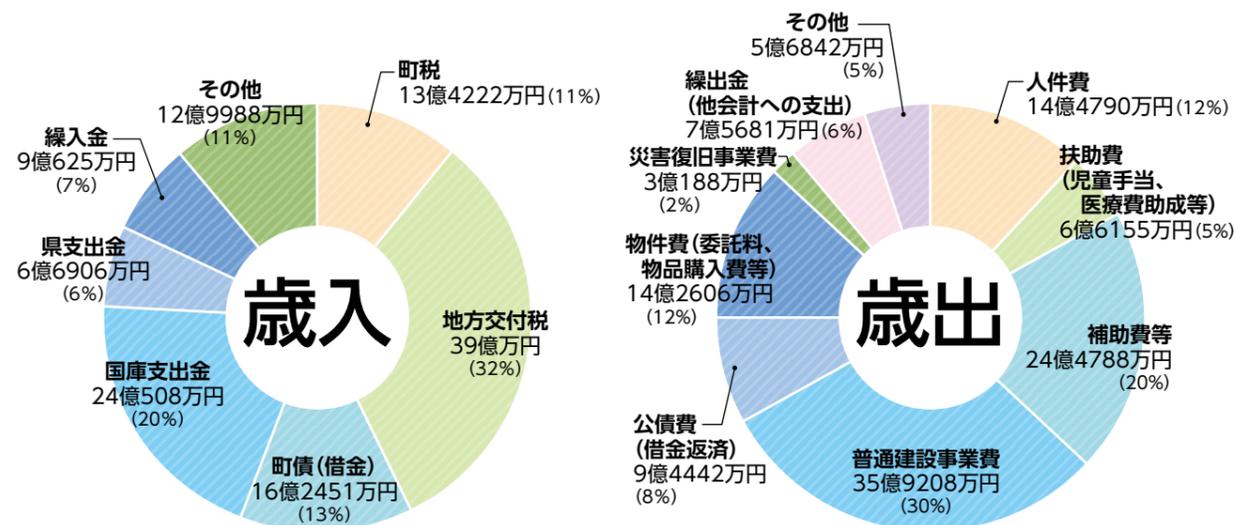
お散歩しながら丸森駅でお花見 (丸森ひまわりこども園児)

住みたい、住み続けたい  
まちづくりを進めよう

- 1 税や使用料の確実な徴収を図り、丸森町債権管理条例に基づき、より適正な債権管理に努めること。
- 2 ふるさと納税と企業版ふるさと納税は貴重な自主財源である。返礼品の創意工夫や企業とのマッチングに力を入れ納税額の増加を図ること。
- 3 河川防災ステーションは、防災拠点に加え、観光及び地域活性化を推進する拠点として、町の特色や魅力が高まる整備を進めること。
- 4 結婚・妊娠・出産・子育て支援策が出生数の増加と移住・定住につながるよう取り組むこと。
- 5 高齢化が進む農業現場で、災害からの営農意欲喚起のためにも、次代を見据えたスマート農業や営農組織育成を推進し、農業振興を図ること。
- 6 金山工場団地の早期完成を図り、雇用の場の拡大による町民定住につなげるよう、早急な企業誘致に町を挙げて取り組むこと。
- 7 被災道路の復旧を早期に実現させ、生活インフラ確保による町民生活の利便を取り戻すよう、全力で取り組むこと。
- 8 町営学習塾は、町独自の工夫と改善により、学習意欲が向上するよう円滑な運営を図ること。
- 9 丸森病院は、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、経営の効率化や医師・看護師の確保と他の医療機関との連携強化に取り組むこと。

# 令和5年度 予算はこうなりました

一般会計予算は121億4700万円



## 各種会計 当初予算の比較 (支出)

会計名	令和5年度	令和4年度	伸び率	
一般会計	121億4700万円	115億6000万円	5.1%	
特別会計	国民健康保険	17億3290万円	17億3740万円	▲0.3%
	後期高齢者医療	1億9160万円	1億9290万円	▲0.7%
	介護保険	20億5220万円	20億5000万円	0.1%
	宅地造成事業	160万円	1630万円	▲90.2%
	公共下水道事業	※下水道事業会計へ移行	19億5430万円	
	工場団地造成事業	8570万円	8840万円	▲3.1%
	農業集落排水事業	※下水道事業会計へ移行	8360万円	
小計	40億6400万円	61億2290万円	▲33.6%	
計	162億1100万円	176億8290万円	▲8.3%	
病院事業会計	12億9321万円	13億2228万円	▲2.2%	
収益的支出	2億245万円	1億9601万円	3.3%	
水道事業会計	3億9925万円	3億9953万円	▲0.1%	
収益的支出	1億7993万円	1億7814万円	1.0%	
下水道事業会計	3億9495万円			
収益的支出	12億4818万円			

※収益的支出とは、人件費や材料費など業務運営に係る支出。  
※資本的支出とは、工事費や過去の建設工事のために借り入れたお金の返済など財産に係る支出。

# 一般質問 町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずねるものです。今回は9人の議員が質問しました。

ページ	議員	質問事項と回答
14	海川正則	●食育を通し給食無償化を 町長 5年度から実施する
15	船山俊一	●空き家の利活用促進を 町長 研究を進め取り組む
16	鈴木美智子	●移住・定住の促進は 町長 仕事・住まい・子育て推進
17	山本明德	●学校給食費を無償に 町長 子育てを応援する
18	一條己	●選挙公約の実現は 町長 子育て支援を進める
19	宮本昭雄	●防ステを桜の名所に 町長 桜での観光振興も視野
20	板橋勇	●日本語学校開設の可否示せ 町長 5年度中に判断する
21	金森裕之	●観光需要の解決策は 町長 観光交流施設の魅力を発信
22	大槻正儀	●新観光計画に期待する 町長 目標は80万人80億円

## 条例制定

### 看護職員修学資金の貸付額を増額

看護職員（保健師・看護師）の人材を確保するため、修学資金貸付額を増額する、看護職員修学資金貸付条例の改正を行いました。

●貸付額  
月額 10万円以内  
入学資金※40万円以内  
（※入学する年度に限る）



地域に出向いて健康教室を行う町保健師（小斎まちづくりセンター）

●償還猶予・免除  
貸付終了後に償還が開始しますが、町の保健師・看護師として勤務している間は償還猶予、一定期間以上町の保健師・看護師として勤務した時は、償還が免除されます。

### 適正な債権管理で未収金対策の強化へ

町民負担の公平性確保などの観点から、債権管理体制を強化するため、債権管理条例を制定しました。債権管理台帳を整備し、支払いや督促の実績などを記録することで、未収金対策を推進します。また、時効が成立するなど条例の規定に該当する場合は、債権を放棄することが可能になりました。

## 請願審査結果

請願4の3  
「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出についての請願」

産建教育常任委員会は、12月7日から4回にわたり委員会を開催し、審査を行いました。

インボイス制度は平成28年度に実施が決まってから約6年間の準備期間を経ており、いつまで延期か分からない状況では、準備を進めてきた事業者や社会全体が混乱する可能性があること、国は登録申請期限の延長や仕入れ額控除の経過措置期間を設け、事業者に配慮しており、実施の延期は望ましくなく、請願は不採択と報告がありました。起立採決の結果、賛成3、反対10で、委員会報告の通り不採択としました。

## 監査委員の選任

識見を有する監査委員選任の議案は、全会一致で同意しました。任期は5年4月1日から4年間です。

◇代表監査委員（新任）  
大内字南平

今村 勝則 さん



## 地方自治功労者表彰

地方自治の振興発展に尽力した功績により、表彰をうけました。おめでとうございます。

全国町村議会議長会より

海川 正則 議員

石井 央 副議長

全国・宮城県・仙南地方町村議会議長会より

菊池 修一 議長

仙南地方町村議会議長会より

宮本 昭雄 議員

一條 功 議員



ふなやま しゅんいち 船山 俊一 議員



QRコード  
一般質問動画

## 空き家の利活用促進を

### 町長 研究を進め取り組む

近年、増加傾向にある空き家の中には、適正な管理がされていないことにより、建物の倒壊や火災発生等の危険、公衆衛生の悪化、さらには景観の阻害等の問題を生じさせ、地域住民の生活に深刻な影響を及ぼしているものがある。

この点を踏まえ、空き家対策及びその利活用促進に向け、町長の見解を問う。

**問①**町の中心地域には、老朽化が進んで倒壊のおそれがあり、安全性や衛生上の面で、近隣住民等に迷惑をかけている危険な空き家が数件存在している。

今後、町内にある放置された危険空き家に対し、どう対応していくのか。

**答①**放置された危険な空き家は、増加傾向にある。個人の財産なので、実態調査を行い、慎重かつ早急に対応を進めていきたい。

**問②**移住者等が、空き家をリノベーションし、古民家レストランやカフェ、民泊施設として活用することで、空き家対策だけでなく、移住促進、さらには地域の元気再生に繋がっている。

空き家の利活用促進に向けた、今後の取り組みは。

**答②**住民や民間事業者等が、空き家の利活用に取り組める環境整備は重要である。他の自治体でも、空き家の利活用が地域活性化に繋がっている事例があるので、さらに研究を進めながら取り組んでいく。

**問③**町は、重点的に空き家の利活用を進めていく「促進区域」を設定し、補助金



倒壊が心配される危険な放置空き家（町中心部）

## 食育を通し給食無償化を

### 町長 5年度から実施する

現在、本町の喫緊の大きな課題は、令和元年台風第19号からの復旧復興と少子高齢化対策があるが、台風19号からの復旧復興は一定の目途は付いたと思う。今後は、少子高齢化対策や定住促進、雇用創出そして農業振興について抜本的な対策を講ずる必要があると考える。

これらの対策のひとつとして、本町の児童・生徒に町内で採れた新鮮で安全な米や野菜などを、食育を通じて提供し、農産物を学校給食や地域内で消費する仕組みを確立させ地産地消を進めるべきと思う。



おいしい給食いただきます（丸森小学校）

**問①**学校給食を教育の一環として捉え、食育のさらなる推進を図り、懸案の少子化対策・定住促進対策の一助とするため、学校給食の無償化を実現すべきと考えらるがどうか。

**答①**令和5年度から小中学校の学校給食を無償化する。学校、家庭そして地域が一体となり、子どもたちの健全な成長を育むための食を通じた教育環境づくりを進める。

**問②**子どもたちが幼少期から地元で生産された農産物を食し、これらを育む本町の自然環境と生産する農家の思いなどについて考えることが必要である。

そのためには、町内の農産物を学校給食のみならず家庭も含め、地域内で生産し消費する仕組みを確立させ地産地消を進めるべきと考えるがどうか。

**答②**学校給食以外の地産地消の取組としては、町民の皆さんに農産物直売所を利用していただくことである。今後は、観光客だけでなく町民の皆さんからも支持される直売所を目指し、生産者の増加や品揃えの拡充に繋がる取組を支援することにより、直売所の利用促進による地産地消を推進する。

うみかわ まさのり 海川 正則 議員



QRコード  
一般質問動画

# 移住・定住の促進は



鈴木美智子 議員



## 町長 仕事・住まい・子育て推進

本町は令和7年の人口目標値を1万2268人としている。  
目標達成策のひとつである移住・定住の取り組みについて町長に問う。

**問①** 令和7年の定住目標値は毎年30人だが達成は難しいと見ている。

移住・定住者の実績と、移住・定住につなげるための課題は何か。

**答①** 令和元年度は39人、令和2年度は26人、令和3年度は30人で、3か年平均では目標値に達している。インターネットで求人情報を発信し、仕事の支援を



移住定住に取り組む「じゅーびたっ」スタッフ（丸森駅舎内）

強化する。補助金等での住まいの確保と子育て支援を推進し、移住・定住の促進につなげる施策を講じる。

**問②** 本町の美しい景観は、移住・定住先としても魅力となっているが、街中に点

在する管理不全空き家は安全な住環境の妨げになりイメージダウンと考える。こうした空き家の解体跡地に、公園や防災空間を整備した自治体もあるが、本町も取り組んではどうか。

**答②** 空き家等対策計画を策定するため令和5年度に空き家等の実態調査を行う。適正な管理を促進し、安全な住環境の妨げにならないよう努める。解体跡地の活用も検討し、美しい景観を損なわないよう取り組む。

**問③** 新たな支援策として移住者個々のニーズに対応し、移住情報を国内外に発信する移住コンシェルジュに取り組んではどうか。

また、県のリモートワークでの転職なき移住事業で、本町への移住につながる働きかけが必要ではないか。  
**答③** 相談対応や情報発信で円滑に移住できるように、令和5年度から移住・定住サポートセンターに移住コーディネーターを配置する。

県の取り組みに期待するとともに、本町のリモートワークなどの情報を積極的に発信する。

# 学校給食費を無償に



山本 明徳 議員



## 町長 子育てを応援する

「教育費の負担が少なくなれば」は、子育て世帯の願いである。少子化の大きな原因の一つは、教育費の家計への占める割合の高さである。  
若者世帯の定着と少子化に歯止めをかけるためにも、学校給食費を無償にしてはどうか。無償化や減免の決断を、三度町長に求める。

**問①** 子どもたちの学校給食費を無償にする予算はいくら必要か。

ほかの自治体に後れを取ることなく、無償化に踏み出すべきではないか。

**答①** 学校給食費は1食当た

り、中学生330円、小学生285円である。無償にする場合、予算は令和4年度では、3869万円となる。

令和5年度より子育て家庭の経済的負担の軽減を図るために、学校給食費を無償にする決断をした。

若者が本町に生まれ生活してよかつたと思えるような町づくりをしていきたい。

**問②** 学校は2つの小学校と1つの中学校になった。児童生徒の通学は、徒歩、自転車、町バス利用、スクールバス送迎と、距離によって決められている。

遠距離通学の児童生徒が安全に通学できるよう、スクールバスでの送迎範囲を見直し、拡大してはどうか。

**答②** 教育長遠距離通学は、スクールバスでの送迎と通学助成制度で対応している。通学時間・経路・個別事情など全てに対応することは難しいが、地域の要望には耳を傾け検討していく。



今日はみんなが大好き カレーの日（館矢間小学校）

**問③** 丸森小学校スクールバスプール周辺は、混雑し危険である。教職員が対応しているが、教職員の仕事ではない。対応を問う。

**答③** 混雑時間帯は校長なども指導に立ち、交通安全上、重点的な配慮をしている。児童の意識向上に努め、保護者や地域ボランティアの見守りも検討する。



みやもと しょうお 議員  
宮本 昭雄 議員



QRコード  
一般質問動画

## 防ステを桜の名所に

### 町長 桜での観光振興も視野

防災ステーションは、町民生活の安全確保や平常時にぎわい拠点として、期待が大きい。次の提案への町長の考えを問う。

**問①** 周辺整備も含めた事業内容と、平常時の活用、整備行程を示せ。

**答①** 水防センターを整備し、災害時の応急復旧の拠点とする。用地の取得や造成工事は国が行う。

平常時は町のにぎわいにつながる施設とし、健康増進と野外活動の場として活用したい。

具体的には舟下りの発着場、町産食材での食の提供、サ

**問②** 防ステを含めた周辺を、桜の名所に育ててはどうか。

**答②** この施設を核として、内川沿いの桜つつみ公園や新川沿いの桜へと誘導させる、桜による新たな観光資源に育てたい。

**問③** 館矢間市街を通る国道349号を、阿武隈川北側堤防沿いに通し、丸森大橋たもとで国道113号に接続させてはどうか。

耕野・大張地区の新たなトンネル工事が完成すれば、大型車の通行量が増える。街中を通すより、住民の交通安全に大きくつながると思うがどうか。



河川防災ステーションを含めた桜回廊づくりを(桜つつみ公園)

## 選挙公約の実現は

### 町長 子育て支援を進める

町長は4期目の選挙で、学校給食費の無償化や、日本語学校開設の検討などを公約に掲げたが、昨年12月議会での答弁は町民にとって不思議なものだった。

町長は、子育て支援日本一のまちを目指して、12年間様々な施策に取り組んできたが、隣の角田市は、新年度から第2子以降の出産祝い金を増額し、保育料と学校給食費を無償化する方針を決めた。

本町も若者定住策については充実していると思っいるが、今後、更なる対策が必要と考え、以下について問う。



いちじょう おさむ 議員  
一條 己 議員



QRコード  
一般質問動画

**問①** 給食費無償化は近隣市町で進めるから町でも実施するのか、ほかに具体的な対策はあるのか。

**答①** 教育環境の整備や妊娠期から出産・子育てまで、切れ目ない支援で子育てしやすいまちづくりを進める。

**問②** 日本語学校誘致は、費用対効果の面でメリットが無いと見るが、町長の考えたメリットは何か。

**答②** 人口減少対策として有効な施策である。もう少し時間をかけて検討する。

**問③** ドローンスクール撤退の理由は何だったのか。受講者は十分集まったのか。

**答③** ドローンは様々な産業分野での活用が期待されていたが、2社とも本業の経営不振で撤退した。

また、受講者は一定の人数が集まった。



丸森ブランドに高めたいA2ミルクよろしく

**問④** 新たな農業振興に向け、町内生産額1位である牛乳のブランド化を、A2ミルク※で進めてはどうか。

**答④** A2ミルクの生産による本町産牛乳の特産化の可能性は大いにある。本町の受精卵移植の技術力の優位性を活かし、関係者とともに更なる調査研究や協議を進め、ブランド化に向けた取り組みを後押ししていく。

※A2ミルクとは  
牛乳のたんぱく質に含まれるβカゼインがA2タイプのみの牛乳のことで、お腹に優しくゴロゴロしにくいという特徴がある。

**答③** 国道349号から相馬方面に向かう通行は、丸森橋から町中心部を通り、新橋に抜けるのが通常の交通形態だが、幅員がいずれも狭い。

快適で利便性の高い道路

環境は町づくりの上からも大切である。

提案のルートは、大きく改善される国道349号の利便性が更に高まると考えられるので、国、県に要望して実現させたい。



かなもり ひろゆき  
**金森 裕之** 議員



QRコード  
一般質問動画

## 観光需要の解決策は

### 町長 観光交流施設の魅力を発信

令和4年、町内の観光・宿泊・飲食業はコロナウイルスの蔓延により大きなダメージを受けた。国は、昨年10月より行動制限の緩和や旅行支援策を打ち出し、国内外の旅行者数も増加傾向となっている。町として、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えた観光復活への対策を町長に問う。

**問①** 町内の観光産業や飲食店への影響はどの程度か。また、観光振興戦略はあるのか。  
**答①** 町が実施している事業所調査では、減少あるいは大幅に減少との回答が令和3年9月で66%、令和4年12月では58%で、商工会の調査でもほぼ同様に改善傾向がみられる。引き続き、交流人口増加と観光消費を推進していく。

**問②** グリーン・ツーリズムやアドベンチャー・ツーリズム等を最大限活用することで観光・宿泊施設への観光客が増えると考えられる。指定管理団体との緊密な連携をどう図っていくのか。  
**答②** 民泊を中心とした宿泊地での観光・体験・食のパッケージ化や、教育旅行の受け入れなど、新事業の展開を図り、指定管理者とも情報を共有し、施設間での回遊性を協議していく。

**問③** 5月に開催される町の最大イベント「丸森いち」が今年で50回目を迎える。町を挙げて盛大に開催すべきと思うがどうか。  
**答③** 「第50回記念全国丸森いち」と銘打って開催される。商工会より特別なイベント等の提案がされており、町としても盛大に実施されるよう支援する。

**問④** 学校生活でのマスク着用など、コロナ感染予防をどう図っていくのか。  
**答④** 教育長子どもや保護者の判断を尊重し、マスク着用は強制しない。引き続き、感染予防の徹底を図っていく。



これから多くの来場者でにぎわう不動尊公園キャンプ場

## 日本語学校開設の可否示せ

### 町長 5年度中に判断する

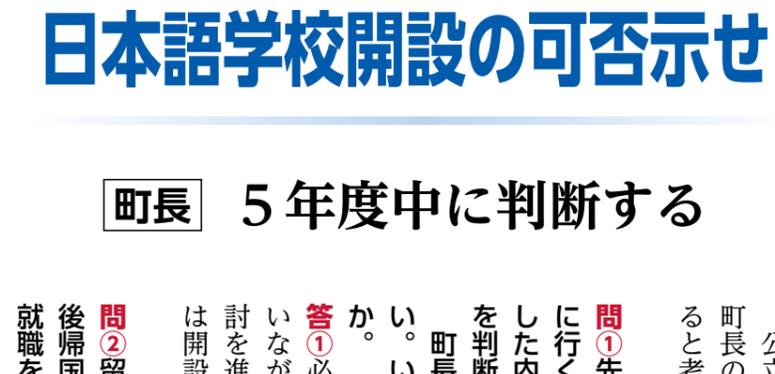
公立日本語学校の開設は町長の熱意と本気度で決まると考え、次のことを問う。  
**問①** 先進地に町長自ら視察に行くべきで、職員が視察した内容を基に設置の可否を判断できるものではないか。町長の判断、決断はどうか。いつまで待てばよいのか。  
**答①** 必要に応じて視察を行いながら事業構想などの検討を進め、令和5年度中には開設の可否を判断したい。

**問②** 留学生の多くが、卒業後帰国することや都市部に就職を希望するケースが多  
く雇用や定住に対して効果が現れにくいという課題が判明したと答弁している。人数や規模にもよるが、本町には全ての留学生が定住や就職できるキャパシティはない。認識不足ではないのか。

**答②** 定員分の留学生が継続的に入学した場合、人口の社会増や関係人口の増加、経済活動の増大が図られると期待している。

**問③** 県のモデル校設置方針は、本町に合致しないと理解する。町の学校像を具に明確に示すべきではないか。  
**答③** 県の事業構想は当初の想定から大きく変わり、支援内容の把握が必要で事業構想提示には時間を要する。

**問④** 制度設計は非常に大きな問題である。最初の外国人受け入れ対象国は一つの国に絞り、規模は20人程度で高校卒業程度を募集するという、町独自の制度設計を提言するがどうか。  
**答④** 県の基本コンセプトやモデルケースの各種条件などを踏まえる必要がある。



いたばし いさむ  
**板橋 勇** 議員



QRコード  
一般質問動画



宮城県が主催した「やさしい日本語研修会」  
(令和4年10月 丸森まちづくりセンター)



おおつき まさよし 議員  
大槻 正儀



QRコード  
一般質問動画

# 新観光計画に期待する

## 町長 目標は80万人80億円

新型コロナウイルス感染予防対策の大幅緩和で、入国制限していた訪日外国人数が回復している。  
政府は令和5年に2500万人、大阪・関西万博が開催される令和7年は3200万人、最終目標年次の令和12年には6000万人にしたいとしているが、これまで3億5830万円使途した本町の外国人観光客誘致事業は、東日本台風とコロナ禍で、既に終わった感がある。  
誘致事業の成果や新たな観光振興計画との関わりについて町長に問う。



丸森の観光シーズン到来（阿武隈ライン舟下り）

**問①**宮城インバウンドDMO事業（県南4市9町）の経済効果は平成30年だけでも46億円と報告されているが、本町への効果や影響を検証したか。  
また、今後の外国人観光客誘致は、どう進めるのか。

**答①**県南には桜並木やスキー場、温泉、キツネ村など外国人に人気のある観光資源があるため、令和元年には16万人の来遊があった。本町には平成29年から令和3年までで、3153人が訪れ、4000万円程度の

経済効果と考えている。今後、サイクルツーリズムや防災教育などと観光を組み合わせ、近隣自治体との連携で、誘客を促進する。

**問②**令和5年度から始める町の新しい観光振興計画に大いに期待する。計画の先導的・牽引的な事業と、展開方法はどのようなものか。また、目標とする入込客数と経済効果はいくらか。  
**答②**計画には重点戦略として、齋理屋敷を含めた周辺整備と、水辺の交流拠点整備をプロジェクト事業として盛り込み計画を進める。これらは本町の観光産業に大きな効果があると期待しており、年間80万人の観光客数と、80億円の観光消費額を目指し、観光を今後の町の成長戦略の1本の柱にする。

# 役場の仕事を 千エツク

2つの常任委員会です、所管する課に属する事務に関し、テーマを決めて聞き取りや現地調査を行いました。

## 総務民生 常任委員会

### この調査に注目

◆総務課  
「消防団の現状・充実強化について」

◆委員長コメント  
「機能別団員の導入で人員確保に期待」  
消防団員は減少している状況にある。定年適用年齢の引き上げや報酬の見直し、機能別消防団員（能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員）制度の導入による、人員確保に期待する。

### 他の調査項目

- ◆企画財政課
  - ・ふるさと納税活用 of シティプロモーション事業、阿武隈急行線の利用促進
- ◆町民税務課
  - ・納付システムの確立
  - ・不法投棄の現状と対策
- ◆保健福祉課
  - ・データヘルス計画の実施状況、不妊治療支援
  - ◆子育て定住推進課
    - ・妊娠・子育ての継続支援
  - ◆丸森病院
    - ・訪問診療の現状・課題、健診業務、二次医療機関との連携

## 産建教育 常任委員会

### この調査に注目

◆建設課、災害復旧対策室、学校教育課  
「通学の安全確保対策について」

◆委員長コメント  
「道路整備で児童の安全確保を」  
丸森小学校の通学路である町道菱川内線は、道幅が狭く大変危険な状態であるため、道路幅を広げて2車線化・歩道を整備する。  
1日でも早く道路を完成させ、安全の確保を望む。

### 他の調査項目

- ◆建設課、災害復旧対策室
  - ・町営住宅等の入居促進、町道等の早期通行確保策について
- ◆農林課
  - ・（仮称）林業振興ビジョン実現に向けた取り組み
  - ◆商工観光課
    - ・観光需要回復策



聞き取り調査を行う総務民生常任委員会（総務課）



道幅が狭く、車両と歩行者が接近してしまう町道菱川内線

角田地区交通安全協会  
副会長大張地区  
佐藤 利美 さん

## 人生をも変える

## 事故を無くしたい

無くならず残念でなりません。

農業のかたわら、長いあいだ地域の交通安全運動に関わり、明るいキャラクターで、地元では「交通安全協会のとしみちゃん」として慕われている、佐藤利美さんに、交通安全への思いを聞きました。

Q 交通安全運動に関わって何年になりますか。

A 23歳の時からで48年、大張支部長に就任して26年になりました。

Q 支部活動の先頭に立って運動してきたとお見受けしますが、ご苦労はありましたか。

A 支部長として年間60日前後の任務を果たしてきましたが、苦勞より支部役員会や会員の協力で、地区民の理解にいつも感謝しています。

今は少子高齢の時代なので、児童や高齢者の事故防止に、地区をあげて取り組んでいます。交通安全事故は

Q 交通安全の観点からの道路管理はどう感じていますか。

A 県道・町道とも決して良好ではないと思います。地元の方々と凍結防止や見通しの確保をするために、支障木伐採などまで行っています。

Q 最後に町や議会への、要望や意見を伺います。

A 飲酒や無謀な運転は論外ですが、一瞬の交通事故でも、加害者・被害者の家族を含め、人生を大きく変えてしまう出来事です。私たちが民間団体がやるべきことは、やり尽くしています。道路に起因する事故防止策の、予算確保をもう少しお願いしたいです。

(大槻 正儀 委員長)

## 次の議会は

6月6日(火) 午前10時  
開会予定

- 日程が変更になる場合があります。後日、町議会ホームページで、改めてお知らせします。
- 新型コロナウイルス感染の状況により傍聴を制限する場合があります。



問い合わせ先 議会事務局 ☎0224-72-3038

## スマホで議会が見られます

本会議の映像をネットで  
ライブ中継しています

- 一般質問は過去の録画映像を常に視聴できます。ぜひ議会だよりと一緒にご覧ください。



丸森町議会中継

検索

## 表紙のことは

桜が満開を迎えたこの日、丸森中学校サブグラウンドでは、男子バスケットボール部員が大きな声を出し合い練習をしていました。

令和4年度から整備が開かれ、計画の半分であるバスケットコートが完成し、8名の部員たちが部活動を楽しむ様子が伺えました。コンディションを聞いたところ「最高です!」と即答してくれました。

残りの半分は今年度中にテニスコートと野球マウンドが整備される予定です。今後はサブグラウンドをフル活用し、楽しく部活動ができるよう心から願っています。

(金森 裕之 委員)

## 議会広報常任委員会

委員長	大槻 正儀
副委員長	鈴木美智子
委員	金森 裕之
	山本 明徳
	船山 俊一
	一條 己